



戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

2022 世界遺産・地域遺産見学バスツアー 世界遺産・高野山を訪ねて ～世界遺産とユネスコ活動～



雲一つない秋晴れの 10 月 20 日(木)、3 年ぶりに開催できた「世界遺産・地域遺産見学バスツアー」で高野山へ。今回は、その高野山で 1 年半前に創設されたばかりの伊都・高野山ユネスコ協会とともに、昼食を兼ねて交流会を実施しました。

芦屋ユネスコ協会からの参加者は 21 名。伊都・高野山ユネスコ協会からは、副会長の尾上憲治様(和歌山県世界遺産マスター・宮大工尾上組代表)と事務局長の中川明様(元芦屋ユネスコ協会理事・中川旅館代表)のお二人が参加、世界遺産のあるまちのユネスコ活動について貴重なお話をしてくださいました。

また今回は、全国旅行支援補助や和歌山県のお買い物クーポン等の支援対象となったため、ちょっとばかりお得感も味わえる見学ツアーを楽しむことができました。



2022 近畿ブロックユネスコ活動研究会 in 舞鶴 11月5日

小雨交じりの 11 月 5 日(土)、「2022 近畿ブロックユネスコ活動研究会」が舞鶴市商工観光センターを会場に開催され、山中会長をはじめ戎井副会長、藤井副会長と南事務局長が参加してきました。

今回のテーマは、「今、そして明日の地球社会に生きる～つなぐ 広げる 未来のために今、何をしなければならぬか～」。世界寺子屋運動・識字教育、学校や市民と連携した ESD の推進、地域の文化・文化遺産の顕彰 未来遺産運動、防災・減災教育 被災地から学ぶ運動の 4 分科会で討論、その成果が発表されました。



「2022 年度 年末講演会 & 親睦会」 12月20日(火)



3年ぶりに、政府代表/外務省特命全権大使(関西担当)ご夫妻をお招きして、恒例の「年末講演会 & 親睦会」を下記の通り開催します。
コロナ禍対策にも十分配慮しながら、世界平和への祈りとともに、2022年を締めくくる楽しい一夜をご一緒に過ごしましょう!

◆日時 2022年12月20日(火) 午後6時～8時30分

※午後5時30分・受付開始

- ◆会場 ホテル竹園3階宴会場
- ◆内容 講演会 & 親睦会(会食、エンターテインメント、ビンゴゲームなど)
- ◆演題 「激変する世の中—どう対応するか ～暗い話から明るい話へ～」
- ◆講師 政府代表/外務省特命全権大使(関西担当) 姫野 勉 様
- ◆会費 8,000円
- ◆申し込み 12月8日(木)までに、同封の返信はがきで出欠をお知らせください。



阪神間ユネスコ協会連絡会 合同事業

10月12日(水)、東りいたみホールを会場に阪神間ユネスコ協会連絡会の2022年度合同事業・講演会「下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」が開催され、芦屋ユネスコ協会からは会長はじめ9人が参加しました。

江戸時代、伊丹・西宮・灘の酒造家たちは、優れた技術、良質な米と水、酒輸送専用の樽



廻船によって、「下り酒」と称賛された上質の酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築きました。

この酒造り文化は、令和2年度に「日本遺産」に認定されています。

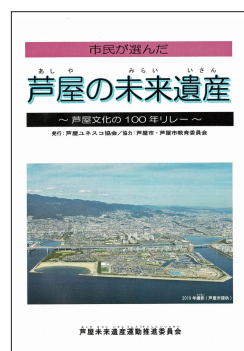
◆ 芦屋の未来遺産運動 ◆

11月8日(火) 芦屋市教育委員会室において、「芦屋未来遺産運動推進委員会」が開催されました。

今年4月、社会科副読本の補助資料として新小学3年生に手渡された冊子『芦屋の未来遺産』を、どのように授業の中で使っていたかについてなど、ご報告を受けました。

また、3年後に発行する【改訂版】について意見交換することができました。

来年度は、さらに具体的な改訂案の内容の検討を続けていくことになっています。



世界寺子屋運動

書き損じはがき募集キャンペーン

世界には、学校に通えない子ども、約5800万人。世界の成人の約6人に1人は読み書きできません。11枚の書き損じはがきがあれば、カンボジアでは1人が1カ月間学校に通えます。未使用の切手やプリペイドカード500円分でも、同等の支援ができます。

書き損じはがきや未使用の切手・プリペイドカードを、市内公共施設や学校に設置しているユネスコの「回収ボックス」へ投入していただけるだけで、「世界寺子屋運動」の支援募金になります。

皆さまの今後とものご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

書きそんじローで
世界を救おうっ!

